

「学校自己評価」についての意見等（関係者による評価）

- 引き続きコロナ禍による制限の下にありながら、前年度以上に儀式的・学芸的行事が充実していたことは、生徒たちの意欲向上に多大な効果をもたらしたのではないかと思います。情勢を注視しつつ、音楽高校としての特性を損なわずに教育が継続されていることに感謝します。
また、附属高校としての強みを活かして大学につながる学習活動が実施される中、進路指導においても、変化を続ける入試システムはもちろん、各コースの教育内容等について生徒がより確実に認識できるよう指導が為されること、大学との連携が強化されることを希望します。
- 昨年度に引き続き、コロナ禍が収束しないため、スポーツ大会、修学旅行等、実施できなかった行事があったのは残念でしたが校内でクラスター等発生することもなく、授業や色々な行事が無事に出来たことは良かったと思います。
- コロナ禍という状況の中でも、感染症対策を行ってドリームコンサート等の演奏機会があったことは生徒にとって何よりの励みになったと思います。
人前で演奏することによって生徒のモチベーションも保たれると思うので非常に良かったと思います。また、地元の人を招いて開催される演奏会は毎回楽しみにしている方も多く、地域との連携にもなるので今後も継続してほしいです。
- 御校の自己評価を毎年拝見させて頂き、特に強く感じる二つの点をあげさせていただきます。
①教育内容が多様化し、指導計画・評価の指標も年々充実しており、次年度への課題もまた、年を追う毎に明確化されていることに感服いたします。
②すべての項目において、「伝統を守りつつ、時代の変化に柔軟に対応する人材を育成すること」への先生方・ご関係者の方々の強い信念を感じられます。
後輩たちが高校生活の中で、時代と共に変わるべきこと、また変えてはいけないことを正しく学び、武蔵野の精神を着実に受け継いでくれることを期待いたします。
- 日頃より特色ある教育活動に取り組まれていることや、コロナ禍で中々行事が思うように行えない中、生徒が技能を身につけたり見識を広めたりできるよう、様々な取り組みを行っていることが、学校評価から伝わってきました。その成果が、ドリームコンサートで見られたように思います。直向きに音楽と向き合い、聞き手を感動させる素晴らしい音楽会でした。コンサート冒頭では、入間市がヴォルフラーツハウゼン市と姉妹都市として連携することになった理由の一つに貴校があるという話を聞き、市との強い繋がりを感じました。この連携が、生徒たちに更によりよい経験をさせてくれるといいなと思います。今年度もありがとうございました。